いま、国連防災世界会議の水道耐震化推進プロジェクトのフォーラム会場から出てきました。
本題の耐震化の話はさておき、そこで講演者の方々からいくつか水道トリビアをお聞きしたので投稿します。
聞き違いだったらすみません。

1. 伊藤雅喜さん （国立保健医療科学院）
・ 水道 1 人 1 日使用量の 350 リットルは、軽トラの積載量とおなじ。みなさんが毎日、軽トラを運転して水を汲みに行くのを水道は代用しているのです。

2. 宮崎正信さん （厚生労働省）
・ 霞が関にあって水道課長って、ものにそのまま課長が付いた役職はめずらしい。以前、ぶた飼育課長というのがあて笑ってしまったが、水道課長も同じですね。
・ 全国の水道管路の更新率をみると、年間0．5%以下の県が8つもある。これって管を全部更新するのに 200 年かかる、200 年前は江戸時代ですよ。
・ 厚生労働省の予算は年間30兆円ですが、そのうち水道予算は300億円で全体の0．1%です。少ないです。でも水道は料金収入で運営することも事実です。

3. 佐藤善彦さん （仙台市）
・ 仙台市水道局にはウオッターくんというマスコットキャラクターがいるのですが、そのテーマソングができました。作ったのは仙台市水道局の職員です。さびは「水を守るよ。100年守るよ。」。ポップスです。

4. 松下眞さん （神戸市）
・ 神戸市では、浄水場から全線耐震管でつながった小学校に「どこでもじゃぐち」を設置してお祝いします。
・ 水道の大切さをわかってもらうために、市民に応急給水栓からお風呂まで鍋で水を運んでもらうことをしています。

5. 岡部洋さん （日本水道事業団体連合会）
・ このプロジェクトのマスコットキャラクター、Dr. すいどー はだれでも自由に使えます。水道耐震化ポータルサイトから取得できます。http;//suido-taishin.jp/

6. その他

一般市民の方から仙台市水道局への要望として、いま配っている 500mL のペットボトルでは地震の備えにならないので、2リットルで使用期限5年のペットボトルを作って、安く売ってほしいという意見がありました。

東北みずの会　　草 野 聡 也